

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1233	単位数	2
担当者名	島津 望	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

限界集落問題を通して、地域再生の産業構築について学ぶ。これを通して、本学のカリキュラム・ポリシーである「自ら課題を発見し解決する能力を身につけること」を目指す。

● 到達目標

地域再生の産業構築事例を通して、地域固有の課題の背景、原因、解決策を総合的に理解する能力が身につくようにする。

● 授業内容

- 1週目 イントロダクション（ゼミテーマの概要、ゼミの進め方など）
- 2週目 いろいろな地域の課題
- 3週目 さまざまな地域産業の取り組み
- 4週目 地域資源保全型経済
- 5週目 学生による発表（発表者1）
- 6週目 学生による発表（発表者2）
- 7週目 6次産業型経済
- 8週目 学生による発表（発表者3）
- 9週目 交流産業型経済
- 10週目 学生による発表（発表者4）
- 11週目 小さな産業経済
- 12週目 学生による発表（発表者5）
- 13週目 全体を通してのまとめの作業
- 14週目 ゼミ論文の発表（受講者の半数）
- 15週目 ゼミ論文の発表（受講者の残り半数）
- 16週目 学期を通しての総括と講評。ただし、やむを得ず15週までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業をおこなう。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

ゼミ論文を書くために、週3時間の予習・復習が必要である。

● 成績評価の方法・基準

授業参画、プレゼンテーション、レポートなどによる総合評価。

● 履修上の留意点

学期の最後にはゼミ論文提出を義務とするので、心得て履修すること。  
ゼミ論文のための予習・復習を最低限、週3時間おこなってこよう。

● 課題に対するフィードバックの方法

課題(プレゼンテーションやゼミ論文)に対するフィードバックは当日あるいは翌週に、課題のポイントを解説しながら、発表者や他の学生とディスカッションするなどしておこなう。

● テキスト

小田切徳美『農山村再生』(岩波書店)520円  
このテキストは、特殊講義（ソーシャルマネジメントA）、特殊講義（ソーシャルマネジメントB）、観光研究ゼミナール、と同一のものである。

● 参考書

内山節『共同体の基礎理論』(農文協)2860円

● 更新日付

2020/03/04 09:30